

アンケート集計表 第14回市民公開講座

「ウイルス性肝炎の最新治療」(2019.9.26)

☆医師 山田 幸則

参加人数 37名 アンケート回収 36名 (回収率 97.2%)

1. 年齢 平均 59歳 20代~80代
◆20代 3名 ◆30代 4名 ◆40代 4名 ◆50代 6名 ◆60代 3名
◆70代 13名 ◆80代 2名 ◆不明 1名

2. 女性 19名 男性 17名

3. 公開講座を何で知りましたか？(複数回答なし)

区分	病院ポスタ	他施設	広報、他	無回答
件数	20	1	15	0

4. 市民公開講座に来て良かったと思われましたか？ (複数回答なし)

区分	来て良かった	来なければ良かった	わからない	無回答
件数	35	0	1	0

5. 本日の講座について理解できましたか？(複数回答なし)

区分	できた	できない	わからない	無回答
件数	32	1	1	2

6. 本日のお話で一番印象に残ったことは何ですか？

- ★ B型とC型の違い。
- ★ C型肝炎は段階的に悪化していくが、B型肝炎は治療の適齢期があることを学ぶことができました。
- ★ B型ワクチンを赤ちゃんの時期に受けることで、将来の垂直感染を防ぐことができるということ。
- ★ B型とC型の違いがよくわかりました。
- ★ B型肝炎が完全に治療できない(HBsAgの消失が困難)ということ。
- ★ 高齢であっても患者の希望によっては治療可能であると聞いたことが、印象的でした。
- ★ B型肝炎は、服薬し続けなければならない。
- ★ 治療・効果について。
- ★ C型もB型も健診の必要性を感じました。
- ★ 肺炎は今は1型2型、同じように治すことができる。まず検診を受けることが大事。

- ★ B型肝炎について、よく理解を深めることができました。
- ★ 水平感染と垂直感染。
- ★ C型、B型肝炎の治療でインターフェロン、経口剤等で完治及び寛解する。
- ★ 薬のお話が参考になりました。
- ★ 肝硬変から肝がんに移行するのが今日までよくわかっていなかった。よく理解できた。
- ★ C型慢性肝炎の進展と発がん。肝機能の数値が安定しているので安心していました。今一度検査してもらいます。
- ★ 肝生検。医療費助成制度を利用。C型慢性肝炎の進展と発がん。
- ★ C型肝炎になったら飲酒よくない事知った。
- ★ B型肝炎も治る薬がほしいです、と思いました。

7. 今後、市民公開講座でどのようなお話を聞きたいですか？（複数回答あり）

高血圧・不整脈・狭心症・心筋梗	13	乳がん・乳房再建など	7
腰痛・関節痛・リウマチ・など	5	子宮がん・卵巣がん・不妊治療な	6
白内障・緑内障・ドライアイなど	9	禁煙・肺がん	4
頻尿・前立腺がん・尿路結石など	5	小児ぜんそく・インフルエンザな	2
糖尿病・甲状腺疾患など	10	その他 ・認知症の診断・治療 ・アスベスト ・テレビ等の医療情報の信頼性はどこまでか？	
消化器・肝臓（内科・外科）	14		

8. 今後、市立貝塚病院に期待することは何ですか？

- ☆ 病院創立 80 周年おめでとうございます！！今後も市民公開講座、期待しております。よろしく願います。
- ☆ 今後も市民公開講座を継続することを期待します。（わかりやすい講座をお願いします。）
- ☆ 創立 80 周年記念祭に期待。
- ☆ 「なんでも任せてください。」と言ってもらえること。

以上